

※ 今週のアウトルック (11/30~12/4)

先週は目先の材料に乏しく、小動きな展開が続きました。

今週は、週末に米国雇用統計の発表を控え、結果を睨みながらの動きとなりそうです。

先週ドル円は、122.5円から123円付近の小幅な動きに終始しました。

今週は週末に控えた米国雇用統計の結果を睨んだ展開となりそうですが、12月のFOMCでの利上げをほぼ織り込んできているため、万が一、予想外に悪い結果であった場合には大きく売られる可能性があるように思います。反対に順当な結果であった場合には、年末に向けて徐々に上昇するシナリオも想定できるように思います。

ドル円の予想レンジは121.5円から124円です。

先週ユーロは、利下げ観測が強まっていることなどから徐々にユーロ売りが進んでいます。ユーロ円、ユーロドルともにサポートラインを少しずつ下げていくような動きです。

今週は週末に米国雇用統計を控え、週初は小動きな展開も予想されますが、順当な結果であった場合には、サポートラインを破って急落ということも考えられるように思います。

また、予想外に悪い結果であった場合には、そのことをきっかけに反発する可能性も想定しておく必要がありそうです。

ユーロ円の予想レンジは128円から132円です。

ポンド円は、一度調整する可能性が高くなってきています。

184円付近のサポートラインを割り込んだ場合には、181~182円付近までの下落は避けられなくなるように思います。

ポンド円の予想レンジは181円から187円です。

今週は、最終的には米国雇用統計の結果次第ということになりそうですが、その前にユーロ円やポンド円のサポートラインを割り込もうとする動きには、十分注意する必要があるようです。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。